

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地域観光団体等支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	7	1	4	10	11	3,830
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	地域経済活性化プログラム						
		事業期間	16	年度～	年度	関連計画条列等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	地域の観光団体	団体:数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			7	7		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	観光団体や事業者を育成する	誘客につながった事業数	18目標	3	最終目標	
			18実績	3	19目標	↑
		23目標	3	23実績	最終目標達成年度	
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	地域内の観光拠点の事業者及び団体等の育成、補助を行うことで誘客の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>天竜峡観光案内所補助</li> <li>天竜峡観光開発推進協議会</li> <li>天竜峡を美しくする会補助</li> <li>猿庫の泉野点補助</li> <li>菊人形展補助</li> <li>遠山郷観光協会</li> <li>上郷観光協会</li> </ul> 18年度の実績	活動日数	500
		<ul style="list-style-type: none"> <li>天竜峡観光案内所補助</li> <li>天竜峡観光開発推進協議会</li> <li>天竜峡を美しくする会補助</li> <li>猿庫の泉野点補助</li> <li>菊人形展補助</li> <li>遠山郷観光協会</li> <li>上郷観光協会</li> </ul> 19年度計画	活動日数	550

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	3,830	3,830
	事業費計(A)	3,830	3,830
人件費	正規職員所要時間	18年度 50	19年度 50
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	179	179
	トータルコストA+B	4,009	4,009

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり。	観光消費額(億円)	現状値	145	19実績	150
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	184
	経済自立度(%)	現状値		19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田市内の観光を推進する上で必要となる観光事業や団体を育成する必要がある。	事業内容としては各種活動団体への補助であるが、各団体や地域の実情に応じた観光支援が必要である。	

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 会員の拡大や、異業種間の向上により幅広い分野で活動できる可能性がある。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 観光客が減少する。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 観光事業の推進にあたり、必要とされる団体や事業内容には飯田市が関与し安定的な運営ができるようにする必要がある。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 会費等適正な費用負担を行っている。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 平成20年度を目途に育成する団体を見直す。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	19年10月までに、それぞれの団体との懇談会を開催し、支援のあり方等を研修する。

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	